

# 令和8年度 富山県畜産振興推進方針

## 1 基本方針

- 飼養技術の高位平準化やスマート農業技術の活用などによる畜産経営コストの削減、畜産クラスター事業などを活用した生産基盤の強化を推進する。
- 県産畜産物のブランド化、価格高騰対策、畜産物の安全確保などにより、経営競争力の強化を図るとともに新たな担い手の確保を推進する。
- 飼料自給率の向上と耕畜連携による資源循環型農業の推進、家畜伝染病の防疫体制の強化などを図ることにより、地域と調和した経営を推進する。

## 2 主要目標

区 分		R 8年度 目標		(参考)R 7年度見込み	
① 畜産物の生産量・産出額	生産量(t)	産出額(億円)	生産量(t)	産出額(億円)	
	生 乳	12,200	17	12,499	18
	牛 肉	650	14	646	13
	豚 肉	3,400	21	3,403	21
	鶏 卵	13,400	43	13,362	43
② 飼料自給率 (%)		28		28	
③ 飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通分)	飼料用米	500		494	
	稲WCS	460		457	
	計	960		951	
④ 水田放牧等の面積 (ha)		25.0		24.0	

## 3 重点推進事項

### <畜産経営コストの削減、生産基盤の強化>

- (1) スマート農業技術の活用などにより、生産性向上やコスト低減、省力化を推進
- (2) 国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備や暑熱対策等への支援などにより、生産基盤の維持・拡大を推進
- (3) 優良種畜(大家畜、豚、受精卵)や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進

### <経営競争力の強化、新たな担い手確保>

- (1) 「とやま和牛 酒粕育ち」、「とやまポーク」等のブランド力の強化や「県産牛乳」の消費拡大の取組みを推進
- (2) 畜産物の価格安定制度の活用や飼料等の価格高騰対策などにより経営安定を支援
- (3) 家畜人工授精師養成や獣医師確保、離農施設の再活用による新規就農支援、法人化による経営継承及び雇用就農促進など、新たな担い手などの確保対策を推進
- (4) 榎富山食肉総合センターの安全安心な食肉供給に向けた施設整備等を支援
- (5) HACCP や GAP の認証取得などを推進し、畜産物の安全確保と労働負担軽減を推進

### <地域と調和した経営の推進>

- (1) 稲WCSや子実トウモロコシなどの生産・利用の推進による飼料自給率の向上
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の備蓄など体制整備を推進
- (3) 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減や、耕畜連携による資源循環型農業を推進するとともに、修繕による長寿命化支援など環境規制にも対応可能な施設整備を推進